

自然の光を操る「光画家」タカコノエルとコラボ

「Moi」を感じるEARTHPEACE

ヘアサロン向けブランド「ルベル」によるナチュラル系ヘアケア「モイ(Moi)」は2月26日、初めてコラボレーションに挑戦し、全身に使える“モイ バーム アースピース”を発売する。パートナーに選んだのは、フィルムカメラで捉えた光鮮やかな写真などで知られる「光画家」のタカコノエル。「わたしらしさ」を重ねるナチュラルケアブランドらしく、香りからパッケージまでを彼女の感性に委ね、地球と広がる森、光を感じる製品に仕上げた。



製品の詳細はコチラから。
2月26日には取り扱いサロンリストを公開

“モイ バーム アースピース”は、メーカー希望小売価格2600円。自然由来成分(※1) 100%(※2)でシリコンフリーのボディーヘアトリートメントバームだ。アーシーハーバルの香りで、オリバナム、アミリス、ガイヤックウッドなどの天然精油を配合する。製品を6個以上購入したヘアサロンには、同じデザインのコラボデザインアルミ缶をプレゼントする(画像はイメージです)

WWDジャパン(以下、WWD)：初めてのコラボパートナーにタカコノエルを選んだ理由は？

中村真子ルベル事業部 化粧品マーケティング部 製品開発担当(以下、中村)：初めて作品を見たときの、今まで感じたことのない“引き込まれる感覚”です。雰囲気は独特なのに、違和感がない。光や草花、空気など自然の心地よさには共感できるのに、「タカコさんには、全然違う世界が見えているんだ」と感じました。スタイリングに関する一通りの製品がそろった「モイ」にとって、こだわりを大事にしながら、新しい世界を探索する上で最高のパートナーです。

タカコノエル(以下、タカコ)：既存のバームの香りにつけ心地、「モイ」の自然な成分へのこだわりに感動したんです。新型コロナウイルスが蔓延して以降は、ファッションの世界で消費を促すような仕事をしていた私も「自分の体を含め、大切なモノってなんだろう？」と立ち止まり考えるようになって、共感できたんだと思います。モデルや風景は普段から「そのままを撮りたい」「そのまま

で美しいんだから、曇りなく収めたい」と考えています。香りも同様の感覚で決めました。パッケージは、森を見た時の、自然界のグラデーションをイメージ。同時にギタリストのYoshitake EXPE(ヨシタケ・エクスぺ)さんの音楽にも刺激を受けました。ライブ中に多重録音しながら演奏して、音のグラデーションを作るんです。

中村：「モイ」は製品を使うときのシーンやタイミングを想像し、名前にテーマのような文言を加えています。タカコさんとのコラボには、「アースピース」という名前をプラスしました。「モイ」は、変わらない芯を大事にしながら、しなやかに揺れるブランド。軸をしっかりと持ちながら、新しいものを楽しむブランドでありたいと思っています。箱や容器の形状は既存品同様ですが、「アースピース」の世界観を上手に表現できたと思います。

タカコ：「アースピース」は、写真表現のテーマでもあります。私は住みたい世界を写真で表現しているんです。「モイ」とのコラボは、その延長線上の作品。「モイ」を選んで大事に使えば、地球に少しでも貢献できる

かもしれない。付けることで体が地球の軸にハマり、自分の状態がPEACEになれば、地球のPEACEにつながると思います。

中村：ウッディ系の精油を中心とした香りで、パロサント(香木)として使うガイヤクウッドなどの植物由来成分を含んでいます。

タカコ：そういえばYoshitakeさんもライブの前、パロサントを焚きまくっていました。

WWD：最近は瞑想やマインドフルネスな

どに価値を置く人が増えている。

中村：ヘアスタイリングの世界では、ある程度のトレンドや時流をつかむのが大事です。タカコさんとのコラボ製品を通して、サロンに香りだけじゃなく、現代の価値観も提案できると嬉しいです。現代の消費者は、意識を相手に向けることも大切になっている印象です。この製品の提案が、サロンの皆さんと一緒に「利己じゃなく利他も」を考える機会になればと思います。



左：タカコノエル(左)は、1991年東京生まれ。ロンドン・カレッジ・オブ・ファッションでアートを学び、ビジュアルアーティストとしてラブ&ピースをコンセプトに活動中。右は中村真子ルベル事業部化粧品マーケティング部製品開発担当。右：タカコノエルの作品。さまざまなファッションフォトやムービーを手掛けている



ダブル使いで「わたしらしい」を叶える

「モイ」は、「これがいちばん、わたしらしい。」をキーフレーズに誕生したヘア&ボディーのナチュラルケアシリーズだ。身につけるたびに自信が満ち、毎日が輝けばとの願いを込め、髪にも、肌にも、心にもフィットするものを選びたい消費者に向けて、自然由来成分(※1) 100%(※2)で構成。スタイリングのあとは、ハンドケアやネイルケアにも使える処方だ。オススメは、“ウォーター”と“コンク(ミルク)”のダブル使い。“ウォーター”は地肌や根元からのケアを可能にし、保湿しながら毛先までを均一ケア。“コンク”は美容成分と水分を補給する。ダブル保湿すると潤いがアップする他、毛髪をドライヤーやアイロンの熱から守ることができる。“クリーム”に“オイル”や“バーム”をプラスすれば、潤いを補給しつつ、束感や濡れ感を表現。仕上げて“ミスト”を使えば、根元からしっかり立ち上がる。複数アイテムを使いこなしたい。



「モイ」は全製品ボディー&ヘアに使える。写真は左から、深く潤してクリアな素髪感へ導く“モイ ウォーター ジェントルドーン”、使うほどに潤いが高まる集中美容液“モイ コンク モアヌード”、ウェットにおさめてツヤめく“モイ オイル レディアブソリュート”、潤って髪の毛はナチュラルにまとまる“モイ クリーム グローリーゼア”、自然なボリュームとツヤを与える“モイ ミスト エラスティックモード”、ウェットな束感と動きを作る“モイ バーム ウォークインフォレスト”